



平成28年11月10日

各 位

上場会社名 デリカフーズ株式会社
 代表者 代表取締役社長 小笠原 真清
 (コード番号 3392)
 問合せ先責任者 経理財務統括室長 中島 実哉
 (TEL 03-3858-1037)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,500	770	800	498	67.96
今回修正予想(B)	33,500	535	560	334	45.56
増減額(B-A)	0	△235	△240	△164	
増減率(%)	0.0	△30.5	△30.0	△32.9	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	31,573	683	708	400	54.67

修正の理由

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、下記の理由により、前回発表を下回る見通しであります。

(1) 天候不順の影響

7月の西日本を中心とした豪雨、8月以降の相次ぐ台風上陸、9月の東北や関東地区における30年に1度と言われる記録的な日照不足・低温等の影響で、全国にわたる青果物産地が甚大な被害をうけたことにより、葉物・根菜を中心に多くの野菜の収穫量が減少し、野菜価格の高騰を引き起こしました。加えて品質悪化による作業効率の大幅な悪化や大量の廃棄ロスが発生いたしました。そのような状況の中、当社グループにおいて、取引先に対し代替野菜や規格変更の依頼、海外からの緊急輸入等、可能な限りの対応をいたしましたが、今回の天候は想定外の天候であり、当社グループの経験を大きく超えるものであります。この仕入総額の大きな増加が利益を圧迫いたしました。

なお、この天候不順による野菜の調達価格高騰の影響は、引き続き年内は続くものと想定されます。

(2) 新工場稼動に伴う想定外の費用発生

平成28年6月より稼動した東京デリカフーズ株式会社西東京FSセンターにおいて、業界初となる「真空加熱野菜」の量産ライン等、最新の生産設備・衛生設備を導入いたしました。その結果、人件費・消耗品費等の立ち上げ費用及び減価償却費等が当初の想定より大幅に増加いたしました。また、現在、西東京FSセンターの稼働率は当初の計画より低く推移しており、立ち上げ費用の増加が利益を圧迫いたしました。

なお、西東京FSセンターが期待に応えられる稼働率になるのは、平成28年12月となる見込みです。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以上